

2025年7月31日(木) 8時解禁

各位

K2 Pictures が運用する映画製作ファンド、
株式会社三菱 UFJ 銀行より資金調達

株式会社 K2Pictures (東京都目黒区、代表取締役 紀伊宗之、以下 当社) は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ (以下 MUFG) の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行 (東京都千代田区、取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下 三菱 UFJ 銀行) より、当社が運用する映画製作ファンド「K2P Film Fund I (読み: ケーツーピーフィルムファンドファースト)」(以下 本ファンド) へ投資を受けることを、本リリースにてお知らせいたします。金融機関による本ファンドへの出資は、三菱 UFJ 銀行が初めてとなります。

なお、本ファンドは本年 12 月末でファイナルクローズを予定しており、三菱 UFJ 銀行からはその期間までに順次、投資を受ける予定となります。



当社は 2023 年 8 月より、新たな映画会社として事業を開始いたしました。昨年 5 月のカンヌ国際映画祭期間中のフランス・カンヌにて、「日本映画の新しい生態系をつくる」ことを掲げ、映画製作ファンド「K2P Film Fund I (読み: ケーツーピーフィルムファンドファースト)」(以下 本ファンド) の立ち上げを発表。

- ・新たな国内外投資家の日本映画産業への参入
ファンドによる資金調達とすることで、国内外の新しい投資家が参入しにくい現状を打破する。
加えて、従来の手数料率を下げることで、投資家へのリターンを早くする。
- ・クリエイターへの利益還元
十分とは言えない現状のクリエイターへの利益還元について、成功報酬を設定するなど、仕組みから構築し、多くの才能が日本映画産業に夢を持ち続けられるよう体制を整える。

上記のような新たな映画製作の形で、日本映画産業に風を起こすべく、一步を踏み出しました。現在も引き続きファンド投資家を募るとともに、才能豊かなクリエイターと映画製作を開始しております。

三菱 UFJ 銀行は、数多くの映画製作を計画する本ファンドへの出資を通じ、映画製作におけるビジネスモデルとリスク構造への理解を深め、映画産業への資金提供に向けた適切なリスクテイク手法の確立を目指します。

三菱 UFJ 銀行からの投資を受け、積極的な作品制作はもちろんのこと、新たなファイナンスの形についても両社で議論を重ね、世界市場で勝負できる体制構築を見据えて、日本映画産業における資金調達の選択肢を増やしてまいりたいと考えております。

<会社概要>

・株式会社 K2 Pictures
代表者：代表取締役 CEO 紀伊宗之
所在地：東京都目黒区青葉台 1-11-16
資本金：388,570,000 円（資本準備金も含む）
事業開始：2023 年 8 月
URL：<https://k2pic.com/>

・株式会社三菱 UFJ 銀行
代表者：取締役頭取執行役員半沢淳一
所在地：東京都千代田区丸の内 1-4-5
資本金：1 兆 7,119 億円
事業開始：1919 年 8 月
URL：<https://www.bk.mufg.jp>